

政策シート (政策名) 生涯学習を享受できる機会の充実

(予算費目名) 生涯学習費

(総合計画体系)

「分野」 文化・生涯学習

30年後の姿 創造都市を実現し、音楽の都として世界から注目されている。

- 10年後の目標
- ・ 音楽などの芸術をきっかけとして新たな文化や産業が創出されている。
 - ・ 多様な歴史・文化による豊かさやスポーツによる喜びを市民が実感している。

◆基本政策 感動のある生活、歴史・文化・スポーツによる豊かさの創造

◇政策の概要

- 市民がいつでも、どこでも、だれでも自由に学びふれあうことができる学習環境づくりのため、生涯学習機会の提供を行っていきます。
- 各地域で、市民の学習成果を発揮する機会を提供していきます。
- 生涯学習施設を拠点として、市民主導による講座等学習活動を開催する仕組みづくりを進めていきます。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29
予算	988,687	856,501	822,789
決算	928,493	819,153	
人件費(A)	65,800	65,800	58,800
報酬(B)	169	164	184
年間経費(予算又は決算+A+B)	994,462	885,117	881,773

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29
学習成果活用事業における講座数(講座)	講座	100	目標	50	70	85
			実績	80	66	
			目標			
			実績			

◇平成28年度の政策評価(政策の概要)

- 市民がいつでも、どこでも、だれでも自由に学びふれあうことができる学習環境づくりのため、生涯学習機会の提供を行っていきます。
- 各地域で、市民の学習成果を発揮する機会を提供していきます。
- 生涯学習施設を拠点として、市民主導による講座等学習活動を開催する仕組みづくりを進めていきます。

◇平成28年度の政策評価(政策の進捗・課題)

＜進捗＞ 計画通り

『『楽しみ』や『生きがい』が見つかるまち・浜松』を目指して、「いつでも、どこでも、だれでも学べる学習環境づくり」や「学習成果を適切に生かすことのできる仕組みづくり」に取り組みました。特に、学習成果活用事業では、市民が課題解決に向かって主体的に学習活動に取り組む場や、日常生活の中で培ってきた知識や経験等の学びを社会に還元する機会を提供することにより、市民協働への転換を進めるとともに、学びの成果を自立的・持続的に生かす仕組みの構築を進めました。しかし、講座の実施を委託する方式のため市民にはハードルが高く、提案を控える方もいました。そこで、平成29年度から直営方式に見直し、市民がより講座の実施提案をしやすいう改善することにより、講座数の拡大を図ることとしました。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)	
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)		非常勤
1	生涯学習計画推進事業					18,854	1,870	2.4				184
2	生涯学習機会提供事業	○	○	○		83,064	73,964	1.3				
3	成人式開催事業											
4	生涯学習施設運営事業	○	○	○		751,150	729,730	2.7			0.9	
5	生涯学習運営事業					10,798	9,398	0.2				
6	学習等供用施設整備事業					700		0.1				
7	社会教育振興基金積立金					1,700	1,000	0.1				
8	生涯学習運営経費(一般諸経費のみ)					15,507	6,827	1.2			0.1	
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						881,773	822,789	8.0			1.0	184

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 生涯学習計画推進事業

◇事業目的・事業対象

浜松市生涯学習推進大綱の推進状況の管理や生涯学習推進の方向性並びに取組内容等に対する協議を行うため、委員による会議を行い、生涯学習・社会教育の推進を図ります。

◇事業の概要

○社会教育委員会運営事業

- ・社会教育委員による社会教育委員会を開催(年間4回程度)し、浜松市生涯学習推進大綱の推進状況の管理や生涯学習推進の方向性並びに取組内容等に対する協議を行います。
- ・関東ブロックで開催される社会教育研究大会や政令指定都市で開催される社会教育関係会議に参加し、情報交換や資質の向上を図ります。
- ・社会教育委員会で提案された「学習成果を適切に生かすことのできる仕組みづくり」のための人材育成の取組として、「地域づくり」及び「地域課題の解決」に関するテーマに特化した人材養成講座を実施し、生涯学習による地域づくりを進めることのできる地域リーダーを養成していきます。
- ・大学との連携により、大学生による講座を実施し、学習成果を発揮する機会の充実を図るとともに地域課題の解決に向けた学習を進めていきます。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H25	—	一般会計	自治事務	社会教育法・浜松市社会教育委員条例	—		

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	1,153	1,367	1,870
	決算	799	990	
	国・県支出			
	市債			
	その他			
	一般財源	799	990	1,870
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)		169	164	184
人件費 (千円)		15,400	12,600	16,800
人工	正規	2.2	1.8	2.4
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤			

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
大学との連携事業による講座数(講座)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	8	12	17			17
実績値	10	17				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

○社会教育委員会運営事業

- ・社会教育委員による社会教育委員会を開催(年間4回程度)し、浜松市生涯学習推進大綱の推進状況の管理や生涯学習推進の方向性並びに取組内容等に対する協議を行いました。
- ・関東ブロックで開催される社会教育研究大会や政令指定都市で開催される社会教育関係会議に参加し、情報交換や資質の向上を図りました。
- ・社会教育委員会で提案された「学習成果を適切に生かすことのできる仕組みづくり」のための人材育成の取組として、「地域づくり」及び「地域課題の解決」をテーマに人材養成講座を実施し、生涯学習による地域づくりを進めることのできる地域リーダーを養成しました。
- ・大学との連携により、大学生による講座を実施し、学習成果を発揮する機会の充実を図るとともに地域課題の解決に向けた学習を進めました。

・事業の成果と課題

指標の達成度

進んでいる

- ・社会教育委員会を4回開催し、生涯学習による地域づくりの人材(人財)育成に係る協議や「浜松市生涯学習推進大綱」の進捗状況の管理等において、具体的な事業内容や今後の方向性について審議しました。
- ・「高まれ！市民力～地域づくり人材養成講座」を南部協働センターにて実施しました。32人が修了し、生涯学習による地域づくりの推進役としての資質を向上することができました。また、講座に先駆け、「地域づくり人材養成講演会」を地域情報センターにて開催しました。124人が参加し、地域づくり活動や生涯学習への意欲高揚、意識啓発を図ることができました。
- ・「市と大学との連携事業～大学生による講座」は、浜松学院大学、静岡文化芸術大学、常葉大学、静岡大学と連携・協力し、17講座を開催しました。大学の専門分野を生かした講座内容で、新たな地域ニーズの発見とともに、これまでの協働センター講座にはない取組ができました。

・事業の見直し

実施結果

大項目 現状 / 小項目 / 事業費 現状 / 人工 現状

人材養成事業については、講座に先駆けて講演会を開催し、地域づくり活動や生涯学習への意欲高揚を図ることで、講座や地域活動への積極的な参加を促しました。また、講座については、テーマや開催日時等を見直し、地域活動の経験者だけでなく、初心者の方にも積極的に参加していただけるよう、内容の工夫・改善に努めました。

今後の方向性

大項目 現状 / 小項目 / 事業費 現状 / 人工 現状

生涯学習に関する諸計画について、社会教育委員に諮っていくことは、社会教育法に基づいたものであり、今後も生涯学習政策の推進にあたり、現状どおり継続していくことが重要です。人材養成事業は、「はままつ地域づくり講座(仮称)」「生涯学習推進フェスタ(仮称)」を実施し、生涯学習や地域活動への意欲高揚や地域リーダーとなる人材の養成や支援を充実させます。大学連携事業については、連携先となる新たな大学へアプローチし、事業の充実に努めます。

事業シート (事業名) 生涯学習機会提供事業

◇事業目的・事業対象

市民がいつでも自由に学びふれあうことが出来る機会を提供することにより、豊かな人間性を育みます。

◇事業の概要

○講座等開催事業

・市民がいつでも、どこでも、だれでも自由に学びふれあうことが出来る学習環境づくりを行います。
 ・市民の学習成果を発揮する機会や場づくり、市民への生涯学習の普及と啓発、生涯学習施設で活動する団体の育成・交流を図るため、各地域で成果発表の機会を提供していきます。

【重点戦略項目No.112】

○学習成果活用事業

・生涯学習施設を拠点として、市民が日常生活の中で培ってきた知識や経験等の学びを、社会に還元する機会を提供します。
 ・市民主導による講座等学習活動を開催する仕組みづくりを進めていきます。

【重点戦略項目No.34】

○子どもの才能を伸ばす課外講座開催事業(負担金)

・将来の地域産業を担う人材を育成するため、産学官連携による、優れた子どもの才能を伸ばす特別課外講座を実施します。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H3	—	一般会計	自治事務		○	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	60,839	73,873	73,964
	決算	52,912	64,859	
	国・県支出			
	市債			
	その他	98	1,587	41,986
	一般財源	52,814	63,272	31,978
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		3,500	2,800	9,100
人工	正規	0.5	0.4	1.3
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤			

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
学習成果活用事業における講座数(講座)				-		112
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	50	70	85	100		100
実績値	80	66				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
ダビンチキッズ・ITキッズプロジェクトの再編拡充				-		34
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	庁内体制の再編	課題整理	検討	効果的な体制構築		
実績値	庁内体制の再編	課題整理				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
全国レベルのコンテスト入賞者数(累計)				II-2(1)ア		
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	5	7	9		15	20
実績値	6	6				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

○講座等開催事業
 ・市民がいつでも、どこでも、だれでも自由に学びふれあうことが出来る学習環境づくりを行いました。
 ・市民の学習成果を発揮する機会や場づくり、市民への生涯学習の普及と啓発、生涯学習施設で活動する団体の育成・交流を図るため、各地域で成果発表の機会を提供しました。
 【重点戦略項目No.112】

○学習成果活用事業
 ・生涯学習施設を拠点として、市民が日常生活の中で培ってきた知識や経験等の学びを、社会に還元する機会を提供しました。
 ・市民主導による講座等学習活動を開催する仕組みづくりを進めました。
 【重点戦略項目No.34】

○子どもの才能を伸ばす課外講座開催事業(負担金)
 ・将来の地域産業を担う人材を育成するため、産学官連携による、優れた子どもの才能を伸ばす特別課外講座を実施しました。

・事業の成果と課題

指標の達成度

・学習成果活用事業では、市民が課題解決に向かって主体的に学習活動に取り組む場や、日常生活の中で培ってきた知識や経験等の学びを社会に還元する機会の構築を図ることができました。
 ・「浜松ITキッズプロジェクト」「浜松ダヴィンチキッズプロジェクト」「浜松トップガン教育システム」の所管課を一本化することで、課題を整理することができました。

・事業の見直し

実施結果
 大項目 小項目 / 事業費 人工

・学習成果活用事業では、市民がより事業に取り組みやすい方法を検討しました。
 ・ITキッズプロジェクトでは、さらに高度なIT・ロボット分野の学習により高校・大学の専門的な学びに繋げていくため、中学生コースの新設を検討しました。

今後の方向性
 大項目 小項目 / 事業費 人工

・学習成果活用事業では、実施方法を見直すことで、より市民が取り組みやすい環境を整えるとともに、自主的な活動に結び付けていく仕組みづくりを行います。
 ・ITキッズプロジェクトでは、中学コースの新設を図ることで、将来の産業人育成につなげると共に、WRO Japan 全国大会でのさらなる上位入賞及び世界大会への進出を目指します。

補助シート (事業名) 生涯学習機会提供事業

◇事業工程表(No.:重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30
112	H26までの「学習成果活用支援事業」を「学習成果活用事業」とし、市民主体の事業展開を図った。	市民が学習成果を活用する講座を、自ら企画・運営する事業を推進した。	今まで以上に市民の参画を促すことができる仕組みを検討する。	
34	庁内体制の再編	課題整理	検討	効果的な体制構築

事業シート (事業名) 成人式開催事業

◇事業目的・事業対象

新成人を祝い「成人の日」を記念し、成人としての自覚と責任を促すことを目的とした成人式を開催することで、地域においては、青少年健全育成の機運を盛り上げ、新成人においては、郷土愛と感謝の念を醸成します。

◇事業の概要

- ・浜松市と地区自治会連合会をはじめとする地域団体や新成人が「地区成人式実行委員会」を組織し、成人式の企画・運営を行い、市内40地区に分散して実施します。
- ・浜松市は地区成人式実行委員会に負担金を拠出します。
- ・浜松市全体で、新成人の晴れの門出を祝い励ます機運を盛り上げ、すべての新成人が成人式に参加しやすい環境作りをします。

**平成29年度より市民協働・地域政策課
に所管替えします。**

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S58	—	一般会計	自治事務		—		

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	14,140	14,265	
	決算	14,139	14,265	
	国・県支出			
	市債			
	その他			
	一般財源	14,139	14,265	
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		2,800	3,500	
人工	正規	0.4	0.5	
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤			

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
成人式参加率(%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	79	79				80
実績値	77	79.5				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

・浜松市と地区自治会連合会をはじめとする地域団体や新成人が「地区成人式実行委員会」を組織し、成人式の企画・運営を行い、市内40地区に分散して実施します。
・浜松市は地区成人式実行委員会に負担金を拠出します。
・浜松市全体で、新成人の晴れの門出を祝い励ます機運を盛り上げ、すべての新成人が成人式に参加しやすい環境作りをします。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

市内40地区で成人式を開催し、対象者7,584人に対して、6,029人の新成人が参加しました。

・事業の見直し

実施結果

大項目 現状 小項目 / 事業費 現状 人工 現状

各地区成人式実行委員会への委託により、市内40地区で成人式を開催しました。また、市内の街中飲食店にも協力をいただき、新成人限定特典を用意して、浜松市全体で、新成人の晴れの門出を祝い励ます機運を盛り上げました。

今後の方向性

大項目 改善 小項目 協働・助成 / 事業費 現状 人工 現状

平成28年度から浜松市と地域の住民が協働して成人式を開催するという位置付けを明確にするため、昨年度までの委託方式から負担金方式としました。将来的には、地区成人式実行委員会を組織する団体を地元の民間企業等にも広げていきたいと考えます。

事業シート (事業名) 生涯学習施設運営事業

◇事業目的・事業対象

生涯学習施設の管理運営及び施設整備を行います。また、浜松科学館について、科学の原理・原則に基づいた展示品と講座で、科学技術に関心を持たせ、観察や実験を通して科学的な考え方を養い「科学する心」の育成を目的とします。

◇事業の概要

【重点戦略項目No.111】

○科学館運営事業

- ・常設展、特別展、プラネタリウムの管理運営を行います。
- ・子ども事業、企業・大学等との共催事業、学校地域連携事業、相談事業等を開催します。
- ・ホール、講座室の貸し館業務、科学学習情報システム(ヘイムズ)IVの保守管理を行います。
- ・浜松科学館のリニューアルを行い、展示物の更新、建物の修繕・UD対応等に取り組みます。

- クリエート浜松運営事業、浜北文化センター運営事業、なゆた・浜北運営事業、万葉の森公園運営事業、天竜壬生ホール運営事業、雄踏文化センター運営事業、みをつくし文化センター運営事業、引佐多目的研修センター運営事業、三ヶ日文化ホール運営事業、春野文化センター運営事業、佐久間歴史と民話の郷会館運営事業、水窪文化会館運営事業、龍山森林文化会館運営事業、生涯学習施設整備事業
- ・各施設の設置目的を達成するために、管理運営及び施設整備を行います。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S36	—	一般会計	自治事務	浜松科学館条例他	○	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	856,380	720,407	729,730
	決算	815,862	699,890	
	国・県支出			
	市債			
	その他	65,603	46,866	104,268
	一般財源	750,259	653,024	625,462
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		9,800	22,120	21,420
人工	正規	1.0	2.8	2.7
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤	1.0	0.9	0.9

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
既存展示物の更新数(累計)(件)				-		111
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	3	5	5	80		80
実績値	4	4				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
浜松科学館の来館者数(人)				-		—
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	210,000	215,000	220,000			260,000
実績値	240,569	210,227				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
生涯学習施設や図書館などにより、知的好奇心が満たされていると思う人の割合(%)				Ⅱ-2(1)イ		
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	30.7	31.5	32.0		33.0	35.0
実績値	30.7	36.2				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

【重点戦略項目No.111】
 ○科学館運営事業
 ・常設展、特別展、プラネタリウムの管理運営を行いました。
 ・子ども事業、企業・大学等との共催事業、学校地域連携事業、相談事業等を開催しました。
 ・ホール、講座室の貸し館業務、科学学習情報システム(ヘイムズ)Ⅳの保守管理を行いました。
 ・浜松科学館のリニューアルを行い、展示物の更新、建物の修繕・UD対応等に取り組みました。
 ○クリエート浜松運営事業、浜北文化センター運営事業、なゆた・浜北運営事業、万葉の森公園運営事業、天竜壬生ホール運営事業、雄踏文化センター運営事業、みをつくし文化センター運営事業、引佐多目的研修センター運営事業、三ヶ日文化ホール運営事業、春野文化センター運営事業、佐久間歴史と民話の郷会館運営事業、水窪文化会館運営事業、龍山森林文化会館運営事業、生涯学習施設整備事業
 ・各施設の設置目的を達成するために、管理運営及び施設整備を行いました。
 【決算 699,890千円(うち前年度繰越 6,563千円)】

・事業の成果と課題

指標の達成度

 平成28年5月1日に開館30周年を迎え、平成29年3月18日に来館者500万人を達成しました。平成29年3月26日には天野名誉館長に、2期目の名誉館長の委嘱を行い、特別講演会を開催しました。
 平成28年12月にコンサルタント業者とアドバイザー業務委託を締結し、平成31年のリニューアルオープンに向けて、展示更新を進めています。

・事業の見直し

実施結果
 大項目 小項目 / 事業費 人工
 浜松科学館開館30周年記念式典では、川が形成される様子を見て学べる実験模型「リバージオモデル」の寄贈を受け、館や市内小中学校での活用が期待されます。また、特別企画「30年 ここまで進んだ科学と技術展」を12月23日から4月2日まで開催し、31,453人が観覧しました。

今後の方向性
 大項目 小項目 / 事業費 人工
 科学教育の拠点施設としてより魅力的な施設となるよう、展示リニューアルを推進していきます。平成29年度には事業者を選考し、平成31年のリニューアルオープンを目指します。

平成29年度

(管理番号)

06 01 03 01 000620000 04

(担当課)

創造都市・文化振興課

(責任者)

藤田 健次

(作成日)

平成 29 年 7 月 1 日

補助シート

(事業名) 生涯学習施設運営事業

◇事業工程表(No.: 重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30
111	・リニューアル検討会 (基本構想の策定)	・サウンディング ・展示計画・設計・製作 に係る要求水準書の作成	・展示計画・設計・製作 に係る要求水準書の作成 ・展示計画・設計	・展示設計・製作 ・展示更新 ・建物設備の修繕、UD 対応等

事業シート (事業名) 生涯学習運営事業

◇事業目的・事業対象

他都市や外郭団体との連携・情報交換を推進し、生涯学習事業の推進を達成します。また、休館中の教育文化会館の管理を行います。

◇事業の概要

○生涯学習運営・調整事業

・協働センター等職員の研修や静岡県公民館連絡協議会への加盟により、各市町の生涯学習施設との連携及び事業推進を図っていきます。

○教育文化会館管理事業

・休館中の教育文化会館の管理を行います。

・教育文化会館の休館に伴い、アクティシティ浜松のホールを利用する学校教育団体に対して、利用料金の負担軽減を実施するため、指定管理者減収分に対して補填を行います。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S29	—	一般会計	自治事務	社会教育法	—		

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	10,121	10,110	9,398
	決算	5,940	8,123	
	国・県支出			
	市債			
	その他			
	一般財源	5,940	8,123	9,398
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		15,400	2,800	1,400
人工	正規	2.2	0.4	0.2
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤			

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
職員の研修参加人数(人)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	70	70	70			70
実績値	92	66				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

○生涯学習運営・調整事業
・協働センター等職員の研修や静岡県公民館連絡協議会への加盟により、各市町の生涯学習施設との連携及び事業推進を図りました。
○教育文化会館事業
・休館中の教育文化会館の管理を行いました。
・教育文化会館の休館に伴い、アクトシティ浜松のホールを利用する学校教育団体に対して、利用料金の負担軽減を実施するため、指定管理者減収分に対して補填を行いました。

・事業の成果と課題

指標の達成度

静岡県公民館連絡協議会等が主催する研修会等に66人が参加し、各市町の生涯学習施設との連携を図りました。
また、協働センター等生涯学習施設の所管課職員等を対象とした「生涯学習推進研修会」を開催し、63人が参加しました。講座やイベント等を始めとした生涯学習事業の企画や広報の在り方について、関係職員の意識啓発を図ることができました。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

生涯学習関係職員を対象に、各生涯学習施設でにおける事業や日々の業務に直接生かすことができるよう、講座やイベント等の企画・広報をテーマとして、研修会を企画しました。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

静岡県公民館連絡協議会等が主催する研修会等については、趣旨や意義を的確に周知し、職員の参加を促していきます。また、生涯学習関係職員を対象とした研修会については、今後の生涯学習の方向性や生涯学習事業についての理解をさらに深めるために、実践発表や実技研修、地域で活動する市民や団体等との交流の場を設けるなど、研修内容の充実に努めます。

事業シート (事業名) 学習等供用施設整備事業

◇事業目的・事業対象

航空自衛隊浜松基地飛行場周辺で、飛行訓練の騒音により生活環境に著しい障害を受けている地域において、学習等供用施設を整備し、地域の人々の身近な学習・コミュニティ活動に貢献します。

◇事業の概要

地元自治会からの要望を受け、学習等供用施設の設備修繕を進めていきます。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S41	—	一般会計	自治事務	防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律等	—		

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	35,806	31,475	
	決算	32,415	28,317	
	国・県支出			
	市債			
	その他	16,207	14,158	
	一般財源	16,208	14,159	
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		700	1,400	700
人工	正規	0.1	0.2	0.1
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤			

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
利用者数(人)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	270,000	271,000	272,000			280,000
実績値	259,567	262,365				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

地元自治会からの要望を受け、学習等供用施設の設備修繕を進めました。

・事業の成果と課題

指標の達成度

平成28年度は延べ262,365人の地域住民の利用があり、前年と比較して3千人程度の増加となりました。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

平成28年度は、瑞穂会館、葵が丘会館、西山会館、湖東西会館の4会館の修繕工事を実施しました。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後も地元自治会からの要望を受け、学習等供用施設の設備修繕を進めていきます。

事業シート (事業名) 社会教育振興基金積立金

◇事業目的・事業対象

社会教育の振興を図るために設置する社会教育振興基金の管理を行います。

◇事業の概要

・寄付があった場合は、社会教育振興基金への積立を行います。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S50	—	一般会計	自治事務	浜松市社会教育振興基金に関する条例	—		

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	1,000	1,000	1,000
	決算			
	国・県支出			
	市債			
	その他			1,000
	一般財源			
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		700	700	700
人工	正規	0.1	0.1	0.1
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤			

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

・寄付はありませんでした。

・事業の成果と課題

指標の達成度

・事業の見直し

実施結果

大項目 現状 小項目 / 事業費 現状 人工 現状

平成28年度は寄附実績はありませんでした。

基金の運用利息を生涯学習機会提供事業-講座等開催事業、生涯学習施設運営事業-科学館運営事業に充当しました。

今後の方向性

大項目 現状 小項目 / 事業費 現状 人工 現状

社会教育の振興のために、当基金の適正な管理と運営に努めていきます。

事業シート (事業名) 生涯学習運営経費(一般諸経費のみ)

◇事業目的・事業対象

◇事業の概要

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
					—		

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	9,248	4,004	6,827
	決算	6,426	2,709	
	国・県支出			
	市債			
	その他			
	一般財源	6,426	2,709	6,827
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		17,500	19,880	8,680
人工	正規	2.5	2.8	1.2
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤		0.1	0.1

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

・事業の成果と課題

指標の達成度

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工